

**GIGAスクール構想の実現**

・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する

・これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



第2次宮古島市教育ビジョン  
「宮古の自然や文化に誇りを持ち国際化時代をたくましく生きる創造性に溢れた明るい子」  
(めざす子ども像)

**タブレット端末を使用する際の注意**



▲LENOVO 5 0 0 e の紹介サイトから



一人一台端末は、タブレット型キーボード、タッチペンで使用し、学校の教育課程内で使用するのにもちろんのこと、**端末を家庭に持ち帰って使用することも想定**しています。本端末は75g落下テストをクリア、防滴キーボードを採用※レノボホームベード参照となっておりますが、**破損しないように大切に使用して**もらいます。家庭内でのネットワークに接続すること、**学校での活用と同じ事が家庭でもできます。**(※その際には、データ通信が発生し、ご家庭の負担となります。) 端末の使用は原則として**小学生は午後9時まで**、**中学生は午後10時半まで**とします。学校教育活動の延長ですので、**娯楽的要素のみの使用は控えて下さい。**

**宮古島市立学校用 ICT機器運用規程**

**使用範囲・使用時間 使用制限について**

新年明けましておめでとうございます。今年度中にはGIGAスクール構想の一人一台のタブレットが配備予定です。宮古島市教育委員会では、運用規程を策定しましたので、今号ではその内容についてお知らせします。

**「持ち帰りQ&A」**

他県での自治体には、10月からGIGAスクール構想で一人一台端末が整備され、11月から端末持ち帰りもスタートしている地域もあります。端末持ち帰りは学校や家庭でも不安があるかと思えます。端末持ち帰り等で気になる部分を、Q&A形式で、宮古島市立学校用ICT機器運用規程に準じて示していきます。

Q: 端末は必ず持ち帰らなくてはいいませんか？

A: GIGAスクール構想は、家庭でもオンライン学習できる環境(長期休業中や臨時休校、休まざるを得ない場合など)を目指しています。今後、端末の持ち帰りの内容等については、学校が決定します。学校から配布されるIDとパスワードを入力することで、家庭の機器(スマートフォンを含む)でも活用できます。

Q: 家にネットワーク環境がないのですが...

A: 限定されたwi-fiルーターの貸し出しを計画していますが、台数に限りがあるため、経済的事情により、環境整備ができないご家庭を対象とする予定です。Wi-fi環境を準備できる家庭は令和3年4月を目処に整備をお願いします。

Q: 端末を使いすぎること、健康被害が気になります。

A: これは、どの情報端末(ゲーム機、スマートフォンなど)も同じですが、「目と画面を30cm以上離す」「30分程度使ったら、姿勢を変えたり・遠くを見るなどし、休憩をとる」ということを家族と一緒に確認し、正しく使しましょう。

Q: 子どもが閲覧してはいけないサイトにアクセスしてしまわないか不安。

A: 児童生徒IDに閲覧制限をかけてあります。その制限は完璧な性能のものはありませんので、サイト閲覧について、今後の情報端末(ゲーム機やスマホ)の使い方も含め親子一緒に考えていく必要があります。家庭での情報端末を使った学習を機会に情報モラルについても学習して下さい。 ※今後GIGAタイムズでも特集を組もうと考えています。

Q: 持ち帰った端末を破損した場合はどうしたらよいですか？

A: 端末は落下テストや防水キーボードを採用した堅牢設計になっていますが、乱暴な扱いをすれば壊れることもあります。故障による破損等と判断した場合、修理や交換にかかる費用をご負担頂く可能性があります。「学校から借りたもの」という認識で、大切に扱ってください。

Q: どういうことに取り組めるのでしょうか？

A: 基本的には学校で行っている学習活動をそのまま取り組むことができます。自分の学習を補ったり、進める手段として【ドリル学習】、情報活用能力を鍛えるため【タイピング】【プログラミング】等が実施できます。教科担当による課題のやりとりも考えられます。

宮古島市  
**GIGAタイムズ**

保護者版  
vol.02

宮古島市教育委員会  
学校教育課  
宮古島市平良字西里1140  
TEL72-9959

GIGAスクール構想

一人一台端末  
高速無線LAN  
ICT支援員増



子どもに任せきりにするのはなく、家族と一緒に確認し合うことが大事です。

